

マタイ 48

聖書の教える 結婚の祝福

マタイ福音書19:1~15 男と女・結婚の祝福

Shikaoichurch.com

13

この数字は？

① 1.15	…出生率(2.0で維持)
② 66万6,661人	…出生数(2024)
③ 48.5万件	…婚姻数(2024)
④ 18.6万件	…離婚数(2024) 38%
④ 28%,18%	…生涯未婚率(50歳時点)

年々悪化 崩壊していく結婚

14

結婚は男と女の祝福の源である

①原則：結婚は祝福	1~10
②例外：独身の賜物	11~12
③結果：結婚の祝福の実 (子どもの祝福)	13~15

聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

18

①原則：結婚は祝福 マタイ福音書19:1~10

サマリア

19

本編 ユダヤ地方へ マタイ19:1～2

イエスはこれらの話を終えると、ガリラヤを去り、ヨルダンの川向こうを経てユダヤ地方へ*入られた。

すると大勢の群衆がついて来たので、その場で彼らを癒やされた。

- *ヘロデ・アンティパスの領地を避けて
- エルサレムのあるユダヤ地方へ
- 追いつがってきた群衆を癒やされた。



20

本編 パリサイ人の試み マタイ19:3

パリサイ人たちがみもとに来て、イエスを試みるために*言った。「何か理由があれば、妻を離縁すること*は律法にかなっているでしょうか。」

- *離婚を巡る論争にイエスを巻き込もうと!!
- *申命記24:1…律法：離縁の規定
- 「妻に何か恥ずべきことを見つけた」場合
- 「恥ずべきこと」の解釈が問題に!!
- 些細な理由での離縁も!!



21

本編 男と女の創造 マタイ19:4

イエスは答えられた。「あなたがたは読んだことがないのですか。創造者ははじめの時から『男と女に彼らを創造され*』ました。

- *創世記1:27…当然誰もが知ってること!!
- 「神は人を**ご自身のかたち**として創造された。**神のかたち**として人を創造し、男と女に彼らを創造された。」

- 神は、父子聖霊なる三位一体の愛の神。
- 神の内に、完全な愛の関係性がある。

→愛の関係を持つ者として人を創造



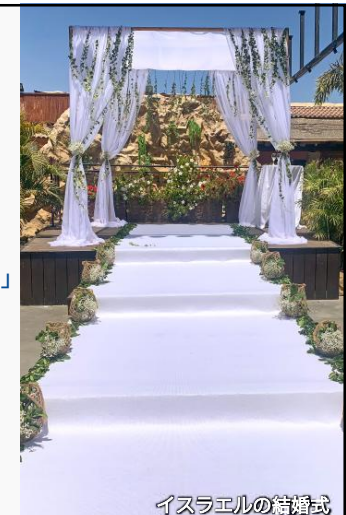
22

本編 男と女が一体に マタイ19:5～6

そして、『それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは**一体**となるのである*』と言われました。

ですから、彼らはもはやふたりではなく**一体***なのです。そういうわけで、神が結び合わせた*ものを人が引き離してはなりません

- *創世記2:24 …結婚の大原則
- *サルクス(単)…“(一つの)体”
- *夫婦は、神が結びあわせたもの
- 性的、社会的、結びつき



イスラエルの結婚式

23

本編 律法の背景 マタイ19:7~8

彼らはイエスに言った。「それでは、なぜモーセは離縁状を渡して妻を離縁せよと命じたのですか。」

イエスは彼らに言われた。「モーセは、あなたがたの心が頑ななので、あなたがたに妻を離縁することを許した*のです。しかし、はじめの時からそうだったではありません。」

*神が望んだことではない…消極的御心

■人の罪ゆえの離縁の重さを、身をもって味わい知らされているのが、私たち人間。



祝福のはずの結婚が罪のために呪いに!!

24

本編 離縁と姦淫 マタイ19:9

あなたがたに言います。だれでも、淫らな行い*以外の理由で自分の妻を離縁し、別の女を妻とする者は、姦淫を犯すことになるのです。」

*不貞、不品行、姦淫

姦淫より重いのが霊的姦淫(エズラ9章)

■些細な理由で気に入らない妻を離縁し、別な女を妻にする者が、実際にいた。



25

①原則：結婚は祝福

- 男と女が**一体**となる →結婚の祝福
三位**一体**の愛の関係性を持った、神のかたちに!!
- 本来の男女の結婚の祝福は、人の罪によって喪失
→律法に離縁の規定が必要に!!
- 離縁は、罪の時代の例外規定。本来の有り様からは逸脱。
→理由は、あくまでも不貞・姦淫に限定される。

26

**②例外：独身の賜物** マタイ福音書19:11~12

サマリア

27

本編 独身免許 マタイ19:10~11

弟子たちはイエスに言った。「もし夫と妻の関係がそのようなものなら、結婚しないほうがましです。」

しかし、イエスは言われた。「そのことは、だれもが受け入れられるわけではありません。ただ、それが許されている人だけができる*のです。」

*「一人ひとり神から与えられた自分の賜物があるので、人それぞれの生き方があります。Ⅰコリ7:7」



28

本編 独身の賜物 マタイ19:12

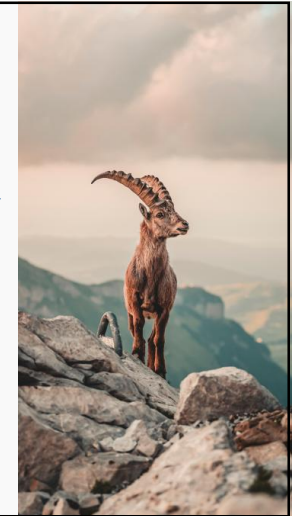
母の胎から独身者として生まれた人*たちがいます。また、人から独身者にさせられた人たち*もいます。また、天の御国のために、自分から独身者になった人たち*もいます。それを受け入れることができる人は、受け入れなさい。」

*先天的独身者 …身体的障害?!

*後天的独身者 …たとえば宦官?!

*神への献身ゆえの独身者(イエス、パウロ)

「独身の男は、どうすれば主に喜ばれるかと、主のことに心を配ります。Ⅰコリ7:33」



29

②例外：独身の賜物

■結婚して子をもうけるのが、男女の祝福の聖書的原則。
…イスラエルは、繁栄を約束され、また求められた。
メシアの系譜をつなぐことは、最も重要な使命。

■例外的に、限られた人に許されているのが、独身。
…神への献身ゆえの独身は、最も尊い。
イエス、パウロ(メシア登場以降)

30



③結果：結婚の祝福の実
(子どもの祝福)

マタイ福音書19:13~15

ヨルダン川西岸

31

本編 子どもたち マタイ19:13

そのとき、イエスに手を置いて祈っていた
 だく*ために、子どもたちがみもとに連れ
 て来られた。すると弟子たちは、連れて来
 た人たちを叱った。

*メシアの祝福を求めた

■マルコ10章でも離縁の話の後の出来事。

➔結婚(離縁)と子どもの祝福はセット!!



32

本編 子どもの祝福 マタイ19:14~15

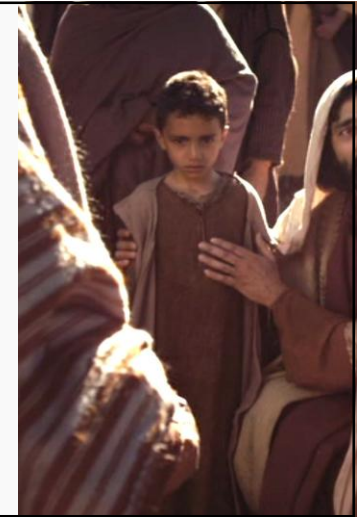
しかし、イエスは言われた。「子どもたち
 を来させなさい。わたしのところに来るの
 を邪魔してはいけません。天の御国はこの
 ような者たちのもの*なのです。」

そして手を子どもたちの上に置いてから、
 そこを去って行かれた。

■イエスがよいとされた、こどもの特性

➔神の権威に対して、素直に従順。

➔神の祝福をただ求める



33

③結果：結婚の祝福の実

■男と女の結婚・一体化の最大の祝福が、子ども。

■結婚の真理が語られた後での子どもの祝福。

■不妊の夫婦をどう考える？

➔律法時代は、最大の不幸

例)不妊の女…サラ、ハンナ、エリサベト

➔教会時代は、夫婦での献身の召し(独身者に準ずる)



まとめと適用 結婚の原則を守り 祝福にあずかろう

ガリラヤ湖

34

35

結婚は、男と女の祝福の源である

- ①原則：結婚は祝福 …男と女が一体となる
神の愛のかたちに!!
…罪のゆえの離縁(消極的御心)
- ②例外：独身の賜物 …限られた人に許されたこと
主への献身ゆえの独身の尊さ
- ③結果：結婚の祝福の実 …子どもは、結婚の祝福

36

①大原則 神は、人に、結婚を命じ、祝福された

「産めよ、増えよ、地に満ちよ」

「男と女に彼らを創造された」

「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである」

37

②例外 罪のゆえに認められた離縁と独身

- 人の罪のために、壊れてしまった男女の関係。
「あなたは夫を恋慕うが、彼はあなたを支配する」
創世記3:16
- 神は、不貞に限り離縁を認められた。(消極的御心)
- メシア以降の教会時代は、献身のための独身は尊い。
→独身は、限られた人に許されている

38

③結果 結婚の祝福が、子ども

- 結婚の祝福が、子ども。すべての人は、結婚の祝福の実。
- 墮罪前のアダムのように、無垢*ゆえの子どものよい性質が。
→主への従順、素直さ
- 来るべき神の国では、誰もが子どもようになる。
「復活の時には人はめとることも嫁ぐこともなく、
天の御使いたちのようです。マタイ22:30」
→栄光の体をもって、主に従順に素直に仕え、喜び感謝する

無垢な子どもは、来るべき神の国での私たちの投影

39

★ 世の終わりが近づく時代に ★

- 日本の生涯未婚率は、間もなく3割超え。
世界人口は、2050年で減少に転じる可能性。
結婚も出産も、当たり前でなくなる時代に!!
- 何にせよ、主の祝福と賜物を正しく理解し、受けとろう。
結婚の祝福である、子どもたちを大切にしよう。
子どもたちへの信仰の継承と育成に力を注ごう!!

世がどうあれ、結婚の原則を守ろう 主に従って行こう

40

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし だれ けっこん しゅくふく み
私たちは、誰もが、結婚の祝福の実です。

こ とも しんこう はぐく あゆ
子どもたちと共に、信仰を育みあいつつ、歩みます。

きた みくに しゅくふく かくしん よ つか
来るべき御国の祝福の確信をもって、世に遣わしてください。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

41